

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年10月29日 (2015.10.29)

【公表番号】特表2015-523963(P2015-523963A)

【公表日】平成27年8月20日 (2015.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-052

【出願番号】特願2015-511433(P2015-511433)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/09 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/09

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 13/10

A 6 1 P 19/08

A 2 3 L 1/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月4日 (2015.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞増殖性障害の個体を処置するための組成物であって、
UDP - グルクロノシルトランスフェラーゼ (UGT) 活性を高めるための化合物として、治療有効量の化合物 プテロスチルベンを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組成物において、前記 UGT 活性を UGT 発現の誘導によって高めることを特徴とする組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の組成物において、前記個体がヒトであることを特徴とする組成物。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の組成物において、薬学的に許容される担体又は栄養補給食品として許容される担体をさらに含むことを特徴とする組成物。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の組成物において、総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、前記組成物の総重量を基準にして、約 0.1 重量% ~ 約 10 重量% の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の組成物において、総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、前記組成物の総重量を基準にして、約 0.1 重量% ~ 約 0.5 重量% の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 7】

請求項 4 に記載の組成物において、1 日総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、約 5 mg ~ 約 1000 mg の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 8】

請求項 4 に記載の組成物において、1 日総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、約 50 mg ~ 約 250 mg の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の組成物において、経口、局所、皮内、経皮及び皮下のうちの何れかの経路を介して投与可能であることを特徴とする組成物。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の組成物において、前記細胞増殖性障害が皮膚がんであることを特徴とする組成物。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の組成物において、前記皮膚がんが、基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫、カポジ肉腫、メルケル細胞癌及び皮膚のリンパ腫のうちの何れかであることを特徴とする組成物。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の組成物において、前記悪性黒色腫が転移性であることを特徴とする組成物。

【請求項 13】

請求項 7 に記載の組成物において、前記細胞増殖性障害が日光角化症及び異形成母斑のうちの何れかであることを特徴とする組成物。

【請求項 14】

請求項 1 に記載の組成物において、12 - HETE のレベルを低下させる効果を有することを特徴とする組成物。

【請求項 15】

個体における UDP - グルクロノシルトランスフェラーゼ (UGT) 活性の、UV により誘発される消失を防止又は抑制する組成物において、UDP - グルクロノシルトランス

フェラーゼ（UGT）活性を高める化合物として、治療有効量の化合物プテロスチルベンを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の組成物において、前記 UGT 活性を UGT 発現の誘導によって高めることを特徴とする組成物。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の組成物において、前記個体が細胞増殖性障害に罹患した固体であることを特徴とする組成物。

【請求項 18】

請求項 17 に記載の組成物において、前記個体がヒトであることを特徴とする組成物。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の組成物において、薬学的に許容される担体又は栄養補給食品として許容される担体をさらに含むことを特徴とする組成物。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の組成物において、総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、前記組成物の総重量を基準にして、約 0.1 重量%～約 10 重量%の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 21】

請求項 19 に記載の組成物において、総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、前記組成物の総重量を基準にして、約 0.1 重量%～約 0.5 重量%の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 22】

請求項 19 に記載の組成物において、1 日総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、約 5 mg～約 1000 mg の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 23】

請求項 19 に記載の組成物において、1 日総用量に対する前記治療有効量のプテロスチルベンが、約 50 mg～約 250 mg の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 24】

請求項 22 に記載の組成物において、経口、局所、皮内、経皮及び皮下のうちの何れかの経路を介して投与可能であることを特徴とする組成物。

【請求項 25】

請求項 22 に記載の組成物において、前記細胞増殖性障害が皮膚がんであることを特徴とする組成物。

【請求項 26】

請求項 25 に記載の組成物において、前記皮膚がんが、基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫、カボジ肉腫、メルケル細胞癌及び皮膚のリンパ腫のうちの何れかであることを特徴とする組成物。

【請求項 27】

請求項 26 に記載の組成物において、前記悪性黒色腫が転移性であることを特徴とする組成物。

【請求項 28】

請求項 22 に記載の組成物において、前記細胞増殖性障害が日光角化症及び異形成母斑のうちの何れかであることを特徴とする組成物。

【請求項 29】

請求項 22 に記載の組成物において、前記細胞増殖性障害が、乳がん、卵巣がん、子宮頸がん、前立腺がん、精巣がん、結腸直腸がん、肺がん、腎がん、肝がん、脳がん、胃がん、気管支がん、膵がん、膀胱がん及び骨がんのうちの何れかのがんであることを特徴とする組成物。

【請求項 30】

請求項 15 に記載の組成物において、12-HETE のレベルを低下させる効果を有す

ることを特徴とする組成物。